

HSK



第 40 号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H. S. K通巻244号

発行日 平成4年8月10日
(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会
札幌市北区北35条西5丁目1-10
AMS南麻生308号

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市北区北13条西1丁目
神原義郎

平成4年 盛夏号

第22回全腎協総会特集



石狩町石狩川マクンベツ (ミズバショウ)

撮影 瀬野一郎氏

北海道腎臓病患者連絡協議会

第22回全腎協総会をよつなら

北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 岩崎 薫



平成4年5月24日札幌市での全腎協総会が終わってヤレヤレ安堵の胸をなでおろしたのは、この総会のために誠心誠意ご協力下さった患者会の皆様総てが感じたことでしょう。

この日の成功のために一昨年より全腎協主催の実行委員会3回道内ブロック会議2回道腎協事務局との打合せ2回土、日の休日を返上しての会議が催されましたが、とりわけ地方ブロックの皆様は泊りがけてご苦労を煩しました。この総会を成功させるため患者会の皆様を心一つにして、計りしれない程のエネルギーを投入したことでした。

その成果は大成でした。1、2000人有余の出席は過去の全腎協総会での三番目の快挙だそうです(全腎協小林事務局長談) 患者会の皆様本当にありがとうございました。

一人ひとりの協力の輪が大ききな力の団結の輪となり各自の任務分担のつながりとなって、一糸乱れず組織的に行動してください。その結果が120%の大成功でした。北海道患者会もやれば「このようにできるんだ」と皆様も自負心をもたれたこと存じます。

とにかく大変ありがとうございました。

例えば札幌市に全腎協総会の開催地として立候補したのが一昨年の春3月の全腎協幹事会でした。翌月の運営委員会で承認されるや北海道は直ちに準備体制に入ったのです。

第20回総会が四国松山市の開催でしたので私も総会に出席し

て、あらゆる情報を収集して組織体制案を作成し、道内ブロック患者による責任体制を定めて発足したのです。

実行委員会は全腎協指導の下に、再三再四行われ道内役員の出席もほぼ100%でした。

一方道外患者の臨時透析施設の確保については札幌透析医協会長田島邦好医師の献身的なご協力によつて300名有余の(23施設)の病院)患者が土曜の午後、日曜の休日を返上しての治療をうけることができました。

臨時透析にご協力くださった医師、看護師、技士の皆様に深く感謝申し上げます。

総会前夜の交流会も定山溪ホテルで636名の出席者で盛大でした。「歌謡ショー、舞踊、民謡のほかおみやげ抽選会」と盛沢山のイベントが華やかに催されアツという間の二時間でした。

総会当日は定山溪より札幌会場にバス15台をチャーターしての輸送手段をとって総会開始の定刻午前9時30分開幕のベルがなり響き渡ったのです。

議事進行に当り議長団に鈴木啓三、津田嘉郎の両氏が選任され堂々たる采配でした。

午後からは六つの分科会がもたれ質疑応答を交えて問題点の集中討議でした。総会は定刻3時30分総ての議題が終了致しま

した。

なお開会の歓迎挨拶で次の点を力説しました。

「私共は一昨年より今日の総会準備とその受入体制を患者会一丸となって整えて参りましたが、手ぬかりの点多々あるうかと存じます。私共一人ひとりが誠心誠意懸命に今日まで頑張つて参りました。其の点おくみとり下されば幸であります。

170万都市札幌は明治2年の開拓以来120年余一世紀を過ぎたばかりの躍動する青年都市であります。北海道には失われつつある田園風景と広い大地と緑があり豊かな自然と異国情緒漂う景観があります。広い大地のなか未来に向つての可能性の宝庫でもあります。どうぞ短い北海道での滞在でしようがこの清らかな澄んだ大気を満喫してこの余韻を胸にお元氣でお帰りになってほしいと思います。」

患者会の皆様有形無形の力を与えてくださつて本当にありがとうございます。総会の大成功をお祝いするとともに深く感謝申し上げます。

第22回全腎協総会北海道大会開催

平成4年5月24日(日)、さわやかな空気が一杯の北海道札幌市で、1,177名の参加者で第22回全腎協総会が開催されました。

定刻の午前9時30分から札幌市教育文化会館大ホールにて廣岡北海道B代表の司会により開始されました。

まず岩崎道腎協会長から「全国



からお集まりいただきありがとうございます。北海道の自然を満喫して無事に会議を終えられ元気でお帰り下さい」との歓迎の挨拶をしました。

次に鈴木・津田両道腎協副会長を議長団に選出して、議事に入りました。

最初に逝去されました沢山の物故会員に会場内全員で黙祷を捧げました。

油井全腎協会長の挨拶は「北海道の皆様準備ご苦労様でした。その他大会成功のためご協力下さいました。道庁・札幌市・関係機関の皆様ありがとうございます。『古くは命を落とす人も多く苦勞の時代でした。今生きる事の意味をかみしめています。その思いが21年間の私達の運動を支えてきました。』「今私達

が受けてきた恩恵がくずれようとしている。今後の医療に対する厳しい状況に対して、初心を忘れず取り組んで、頑張りたいと思いません」という要旨でした。

道・札幌市・道議会議長若狭靖氏、道透析医会副会長田島邦好先生、日本透析療法学会理事長代理大平整爾先生・国會議員の方々等沢山の来賓が出席されていました。

午前中の議事は若干の質問の後、承認されました。

午後からは「透析医療と供給体制」「腎臓移植と脳死問題」「CAPDの普及と問題点」「要介護患者問題への対応」「就労と所得保障」「これからの会活動」というテーマ別の6分科会に分れて、各県腎友会の現状や今後の活動状況が論議されていました。

前日は午前10時から総会資料の袋詰めを55人の会員家族と行い、終了後定山溪ホテルに移動して、最後の打合せを行いました。

又、午後6時からの交流会は全





に終了することが出来たのは、全員一致団結して、それぞれの役割を分担したことや積極的に参加された会員・役員・関係者の尽力のお陰だと大変感謝しております。

御協力戴いた ボランティアの

方々

- ・北海道難病連
(藤田さん、田中さん)
 - ・北海道大学医療問題研究会
 - ・日本福祉学院
 - ・札幌社会福祉専門学校
 - ・北星学園大学
 - ・市立札幌病院の平野先生
 - ・市立札幌病院の看護婦さん
 - ・仁徳会病院の看護婦さん
- 総会成功のためにご協力いただいた皆様方のご支援に感謝いたします。

腎協、始めて以来の最高の636名の参加者で盛大に催されました。旭川の透析者でありプロ歌手の郷田二郎さんの演歌ショーや同じく札幌の透析者のジョージ三益さんのコミック舞踊、西川流の岩崎紀威さんの歌に合わせた舞踊、そして、民謡ショーやお楽しみ抽選会など沢山のアトラクションで大変盛況の内終了しました。

北海道で道腎協独自で実行委員会を開き、総会の意義や会員の取り組みについて、数回の話し合いがもたれました。なんとか、無事

総 会 写 真 集



道腎協岩崎会長あいさつ



全腎協油井会長あいさつ



大平先生(来賓)



田島先生(来賓)



鈴木副会長（道腎協）、津田副会長（道腎協）



司会の廣岡北海道B代表



分科会の模様



総会宣言を読む福原さん



ここに記入して下さい。



受付風景



氷が食べ放題？ 170kg消化



北海道の受付もガンバッテいます



北海道物産店も開催



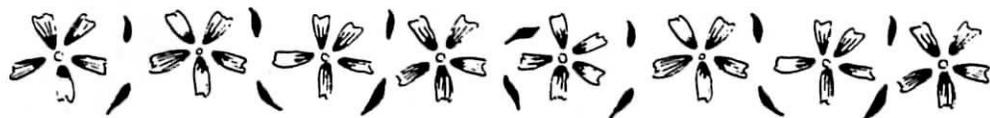
本も沢山売れました



低リンラーメン等沢山のメーカー出店



ハワイからインターコンチネンタル・メディカル・サービスも来道



交流会写真集



盛りあがった民謡ショー



人数が多くてはじまで見えない



色っぽい？ ジョージ三益さん



渋い演歌の郷田二郎さん



おいしかったわねー



見事な舞 岩崎紀威さん（右）



おめでとう！抽選会のひとこま



どれどれ私の席はどこかな？



私の部屋は何階かな？



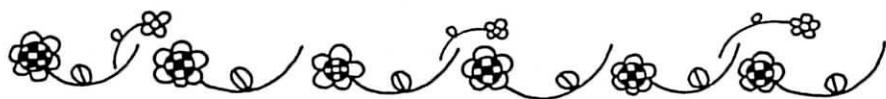
嵐の前の静けさ（宿泊受付）



定山溪温泉の湯元
定山溪ホテル（宿泊会場）



えーと、あった、よかった



第22回総会任務分担表

1992. 5. 24

担当・任務	実行委 責任者		人数	担 当 者
総括	岩崎 薫	堀井 和彦	2人	
議長	鈴木 啓三	津田 嘉郎	2人	
書記	高道 章	新山 正紘	14人	[分科会] 湯谷まゆみ(札幌) 柳沼 正一(札幌) 村田 明光(苫小牧) 松浦 範子(苫小牧) 佐藤 道美(室蘭) 齋藤 一子(小樽) 山下 嘉一(小樽) 相馬 啓子(岩見沢) 鈴木 春美(深川) 佐藤 裕子(札幌) 福原真理子(札幌) 大槌 洋子(室蘭)
総会宣言	福原 真理子		1人	
受付	上田 弘	棧 勇	22人	*北海道内 ◎祝電、メッセージの受取 *その他の都府県 中崎美津子(札幌) 齋藤 好子(札幌) *役員 望月恵津子(札幌) 鈴木 恭子(札幌) *一 般 佐藤 敬子(旭川) 藤田 洋子(旭川) *来賓・報道 長谷川和江(浦河) ボランティア13人
来賓	佐藤 朱美	橋本 巖	5人	安江 良和(旭川) 佐藤 昌夫(旭川) 佐藤真美子(道南)
報道接待				
全腎協役員控室				
設 営	田中 政夫	三浦 春雄	13人	看板、全腎協旗の確認 ボランティア5人 舞台設営(総会、分科会) [分科会マイク ボランティア6人]
場内整理	乙竹 隆七	毛内 裕之	22人	場外整理 ボランティア10人 場内整理 ボランティア10人
議事運営	-			
記 録 (写 真)	宮本 好和	永田 和之	6人	*カメラ 三沢 紘三(札幌) 小玉 登(室蘭) 江島 寛(千歳) 片岡 譲一(苫小牧) *テープ
救 護	遠藤 兼市	西内 則子	11人	布団5組、毛布10枚、救急用品は病院に依頼、医師・看護婦依頼 棚田まゆみ(札幌) 高田 裕子(札幌) ボランティア7人
C A P D				*男子用 (加温器2、スタンド2) *女子用 (加温器2、スタンド2)
会 計	金丸 洋子	金山 義一	3人	飯村 歩(札幌)
図書販売	村本 徳雄	原田 幸一	8人	笠原 澄子(札幌) 久原幸江(札幌) 平山 憲子(札幌) 早坂 泰範(旭川) 藤田 勉(旭川) 猪野 義明(旭川)
湯茶・氷	川村 隆志	佐藤 功	14人	三沢 祥子(札幌) 岡田 昌治(根室) 松田 ツカ(十勝) 鈴木 フサ(十勝) 森 修子(留萌) 岩淵恵美子(滝川) 高原ヤス子(滝川) 下田 (北見) ボランティア4人
弁 当	柳本 一	西木戸 隆博	24人	齋藤 洋子(十勝) 上田 竜子(十勝) 水津美代子(十勝) 田中 淑子(十勝) 高梨 利作(十勝) 高梨 (十勝) 塚本 義彦(十勝) 能代 光子(道南) 井村サヨ子(道南) 榎 弘(道南) 工藤 豊(道南) 石山 悟(道南) 田中 キメ(道南) 中野 龍一(道南) 釣巻 卓郎(道南) 佐藤 陽子(道南) 福田みつえ(道南) 原田 幸一(網走) 吉川 守(夕張) ボランティア3人
案 内	豊島 恒樹		11人	館 外 (最寄りの駅等からの案内) 館 内 金井 英雄(釧路) 東 哲司(釧路) 佐藤 信洋(釧路) 掛札 聖(釧路) 吉田 邦子(深川) ボランティア5人
透析案内	猪村 和子 (札幌)	福原 真理子 (札幌)	23人	邑田 和子(札幌) 今村まち子(札幌) 佐藤 裕子(札幌) 雨宮 英子(札幌) 柳沼 正一(札幌) 竹内 睦子(札幌) 遠藤 兼市(札幌) 高道 章(札幌) 永田 和之(札幌) 久原 幸江(札幌) 西野 聡子(札幌) 佐々木こずえ(札幌) 棧 勇(札幌) 岡根 徳政(札幌) 住野 健夫(札幌) 望月 悦子(札幌) 鈴木 恭子(札幌) 宮本 好和(札幌) 八重樫 正(札幌) 湯谷まゆみ(札幌) 小野 広士(札幌)



三井芳江 (仁榆会)	猪沼正一 (仁榆会)	柳沼留美子 (光星)	三藤功 (光星)	佐藤和彦 (光星)	堀井美栄 (佐藤)	水上和之 (佐藤)	永田史江 (渡井)	中出悦子 (渡井)	永沢悦子 (渡井)	鈴木恭子 (渡井)	望月悦子 (渡井)	佐藤範美 (渡井)	長沼輝美 (渡井)	齐藤英子 (渡井)	門田修子 (渡井)	岩崎輝也 (渡井)	岩崎薰 (渡井)	棚田まゆみ (田島)	川初幸子 (田島)	宮本好和 (北三条)	西里優子 (南一条)	田中キエ (南一条)	高田裕子 (南一条)
柴谷	廣岡達夫 (苦小牧)	佐藤裕子 (JR鉄道)	佐藤昭雄 (三樹会)	宮地和子 (三樹会)	邑田英子 (三樹会)	雨宮源次 (清田)	齐藤源 (清田)	棧末ヨシ子 (幌南)	久原澄子 (幌南)	笠原憲子 (北クリ)	平山洋子 (北クリ)	金丸幸江 (北クリ)	久原裕子 (北クリ)	山岡三枝子 (北クリ)	堂田千鶴子 (北クリ)	若松正由 (北クリ)	正岡敦子 (北クリ)	神座みち子 (北クリ)	石川聡子 (北クリ)	西野徳雄 (北クリ)	村本啓三 (北クリ)	鈴木久美 (北クリ)	石田美 (北クリ)

氏名
 全腎協第22回総会
 北海道大会資料袋のお手伝い

全腎協総会に参加して

「第22回総会に出席して」

札幌腎臓病患者友の会

湯谷 まゆみ

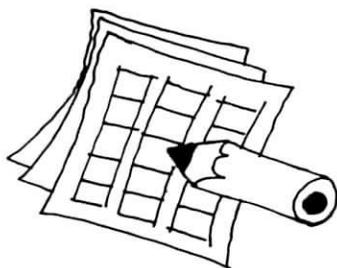


ます。「今は恵まれている」とのんびり構えていられない沢山の問題が生じています。これからも増々患者会の団結力を大きく強くするため、皆様、力を合わせて邁進してゆきましょう。

地元札幌での総会に参加し、微力ながらお手伝いできましたことに感謝いたします。

私達が今迄お金のことを心配しないで透析という高額医療の恩恵を受けて生きながらえてこられたのは、先人の血と汗と涙の結晶「腎友会」のおかげである事を、あらためて認識させられました。

しかし、先人達により積上げられてきた土台が、少しずつ、大きな力によって壊されようとしてい



「待ちにまつた、定山溪!!」

十勝地方腎友会

塚本 義彦

5月23日、いよいよ定山溪に向けて出発の日がきた。

天候は、いまいちバツとしないが暑くも寒くもないくらいの方が自分達の体調に負担が、かからずとても助かります。

今回十勝からは、30名の会員および家族の方々の参加で、バス1台に全員乗り、無事定時に帯広から一路定山溪へむかい出発しました。

道中バスの中では、おやつを食べたり、ビンゴゲームやクイズなどで会員や家族の方々同士の親睦を深めることができました。

そして、定山溪ホテルに到着し各自それぞれ部屋で休憩をし、交流会が始まるのを待っていました。交流会の会場に入って一番驚いたのは、その会場の広さと参加者の多いこと、今回の交流会が一番参加者が多かったのも、うなずけます。

全国各地から集まっているので自分の席の横の人が名古屋からだとか、熊本からの人達だったり、話す言葉のイントネーションの違いの大きいこと、本当に驚いてしまいます。しかし、本州各地の人達にしてみれば、北海道人の会話も、おかしく聞こえるのでしようね。



こんなささいな事でも、ふだんなかなか旅行に行けない人達にとっては、今回参加したことで体験出来たことがとても嬉しくまた、全国の透析状況、透析患者同士の悩みを直接聞いたり、話したりが出来た事も、今の自分にとっては、有意義な時間でした。

2日目の総会では、十勝から弁当係や、お茶水係10数名の人達が手伝いみんな一生懸命動いてくれ、

無事に総会を終了できました。

今回、この交流会及び総会に参加したことで参加者全員「貴重な体験が出来、とても勉強になった」と、帰りのバスの中で話し合い、いつもは、家と病院のばかりで生活をしている透析者にとって、この二日間の出来事がどんなに良かったことか、今回の責任者として参加を呼びかけ、みんな無事家路へ帰り着いた時、強く思いました。

「全腎協全国総会に出席して」

オホーツク腎友会

原田 幸一

今回北海道において開催された全腎協総会は、近い将来法人化になった時は、私達一般会員は今の様な形で出席は不可能になるもので、私、個人にとって最初で最後の出席ではないかと思ってお手つたいを、させていただきませに網走から札幌まで出向いたことは、私にとってこれだけの体力

があるのかと、自分ながら驚き他に道協ブロック会議にも出席して、月に2回も出札することもありました。1、200名ほどの大會議、意義ある各分科会も全部出席しました。

「初めて総会に参加して」

苫小牧つくし会

伊藤 粹裕

総会当日は貸切バスで行くことにし準備を進めてまいりました。

当日の参加者は会員23名、家族5名でした。9時には、会場につきました。受付の混雑に、はぐれぬよう、また前日交流会参加組と合流しなければと思いましたが、無事、席に着く事が出来ました。総会では来賓の多いことと、その挨拶が長く、肝心の議事の進行に支障がありました。全体会議でも

私が出席した分科会でも全腎協の法人化に対して意見が多く、課題が多く残っていると思えました。

分科会の「これからの会活動」では単なる活動報告で、期待外れでしたが、京都の女性の会長の説得力のある報告には感銘を受けました。

この総会の準備に奔走された道腎協の岩崎会長、そして役員の方、札幌腎友会の皆様、有難うございました。

「全腎協総会に参加して」

滝川クリニク透析者の会

宮本 律子

第22回総会ご成功おめでとうございませす。ライラックの美しく咲き誇る札幌で総会が行われ、南は沖縄全国各県より道内各ブロックなど交流会636名、大会には一

千数百名の参加でした。岩崎会長はじめ道腎協役員の皆様ご苦勞様でした。感謝をこめ拍手を送らせていただきます。当クリニクから11名参加し高原理事岩淵監事が



お手伝いさせていただきました。旭川時代の療友との懐かしい出会

い、四国の旅の懐かしいお顔、お元気なお姿に接し感慨深いものがありました。交流会の席で名古屋の役員の方と同席になり透析歴20年と長いご苦労のり越えてお元気で参加され、私共も励まされた思いです。各県各ブロックの益々のご発展を祈念し総会開催にあたり全腎協運営委員の皆様又ボランティアの方々へ深くお礼申し上げます。

「沢山の方が貴方を支えます」

小樽後志地方腎友会

津田嘉郎

この度の全腎協総会には、全国から集まった500名と、道内から600名の患者家族が一堂に会し、盛大に開催されました。小生も微力ながら実行委員の一員としてお手伝いさせていただきました。そして最大の難関である320名に及ぶ道外透析者の人工透析でありましたが、休診日を返上して23日から三日間市内23施設の先生と

スタッフの方々のご協力により無事完了出来た事を感謝しております。一年以前より準備を始め数度に亘り打ち合わせ会議を開き、各自の作業分担を支援なく遂行するため、企画を重ね多くのボランティアの人々の尽力によって無事終了出来た事を喜んでおります。この様に私達は沢山の人々の協力によって成り立っていると昔から言われ

ていますが、ハンディを持つ我々透析者は、人一倍多くの方々の協力によって生命を維持されている訳です。全国65,000人の仲間によって結集された偉大な力が、今日の恵まれた医療保障を享受している訳ですが、その為に過去に幾多の先輩各位の身を挺にした尽力があったのです。今回の総会に参加し組織の偉大さを身に染みて

「全腎協札幌総会を終えて」

道南腎臓病患者連絡協議会

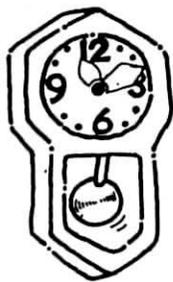
田中政夫

実感した次第です。どなたも色々ご不満やご希望も数多く有ると思います。お気軽に相談出来る場として腎友会を活用しようではありませんか。今後一層急増するであろう高令化や合併症の問題、要介護透析者への対応、腎移植の問題など積極的に考える場として一人でも多くの皆様のご参加の必要を感じた次第です。

長い準備期間をかけたが、うまくゆくかな？と不安はありました。が、交流会も総会も予定どおり消化され、ホッと安堵しています。表方から裏方まで精力的に活動された道腎協事務局のみなさん、併せて地元札幌の腎友会のみなさん、おつかれ様でした。

全国各地から参加された会員が北海道をどの様に感じられたか、また札幌を、そしてこの総会をどう感じられたか、きいてみたいも

のです。北海道で初めて開催された総会の準備期間から、少しがお手伝いができ成功裡に総会が終えたことは、私にとつて忘れられない記念碑となるでしょう。



「全腎協札幌総会に参加して」

旭川地方腎友会

藤田 勉



一昨年以来、この総会に出席するため、旭川地方腎友会ではチャリティ歌謡ショーを開催し、益金の一部を積立てるなど準備を進めてきた。

当日は61名の会員が参加し、初

「全腎協第22回総会に参加して」

北見地方腎友会

西木戸 隆博

総会を終わっての第一声「つかれたな」でした。次に、一番心配していた、会よりの18名の参加者

が、無事に帰宅した事です。一緒に行動できなかったせいもあるでしょう。又、道の役員として、北

海道での初めての総会を取り組んだのに、「やったな」「成功したな」と心の底より感じないのは、なぜだろうと思ひ起こしてみよう。何か、ものたりない感じがする。当日の参加人数については、取り組み中の心配をよそに1、1000人をこえる参加者が有り、良かったなとは思ふ。何が不足しているのだろうか。

それは、道腎協独自の目標を持たなかったからではないかと自分なりに思う。何十年に、一回の全国総会を取り組むのに、道腎協としての目標がなかった。

口から出る言葉は、「総会を成功させなければならぬ」という事だけで、そのために、道腎協として、全道の会員に対して、指針を示さなかった。

一つに云える事は、道として取り組むにあたって全会員が努力するという事は、組織の拡大であり、総会を成功させるのに、当日参加できなくても自分達がガンバッテ、会員を2、600から何千人に増したというように、会員拡大の目標がもてなかった事、なぜ、そう考えるかと云うと、今、各会では、

会員拡大にむずかしさを覚えている状況です。この状況現状を克服するためにも、このイベントは、良い機会であったと思います。又、組織の拡大こそが、活動に対するバロメーターではないのでしょうか？

二つ目として、全腎協の総会ではありませんが、全腎協のやるべき事、道腎協のやるべき事、の二点が、ごちやごちやにならなっていて、「総会を成功させよう」という事は、言葉の上では、分かっているけれども、実際には、何がなんだか不明のまま、しようぎのコマのようにただ動いているうちに終了したように思えます。

今回の、取り組みこそが、「患者会行動とは、」を具体的に指導できる良いチャンスであったと思えます。

全腎協は、道腎協を、道腎協は、各役員、各会へ等の具体的指導する事「東京より北海道は、見えないうよ」と発言しましたが、まったくその通りになったと思えます。大衆活動のむずかしさ、患者会ならぬおの事、いやという程わかりませんが、私達は、ここからにげら

れないのです。

命ある限り皆んなで頭をつき合
わせ、腹を割っての行動が、今一
番必要ではないでしょうか。感想
にならず、意見になりましたが、
二、三のべて見ました。

最後に、今総会に、たずさわつ
た多くの方々大変御苦労さまでし
た。

今後とも、ガンバリましょう。

合 掌

「全腎協総会に参加して」

小樽後志地方腎友会

高 橋 栄 子

全腎協・道腎協の役員の皆様ご
苦勞様でございます。そしてボラ
ンテアの皆様には深く御礼申し上
げます。又、道会長の岩崎様には
いつも感謝しております。前夜祭
には奥様のすばらしい舞を見せて
戴き私達はいつも会長のお話を聞
いて勇気付けられ一人でも多くの
会員を、と思っている患者の一人

も何かに協力したいと思つて居り
ます。
本当に大会役員の皆様御苦勞様
でした。

です。こんなすばらしい総会が北
海道で開かれるなんて、これも会
長はじめ役員の皆様の御苦勞の賜
物と心より感謝いたします。

どうぞこれからもお元気で私達
のためにお力ぞえをよろしくおね
がい申し上げます。私達も少しで



「全腎協総会に参加して」

夕張腎臓病友の会

浦 正 明

全腎協総会北海道大会に患者会、
家族会、として参加させていただ
きました、多くの方が遠い所を札
幌に、お元気でおいでになり又病
気と戦いながら頑張っているのを
見て今の医学の進歩がありこうし
て元氣におられる事に感謝します。
又、午後からの分科会ではそれ

ぞれの経験やこれからの生き方に
ついて、どうやってゆこうかと云
うこと、発言の中で青森の役員の
発言に対し深く感動させられまし
た。これからも皆様と共に病氣と
戦いながら生きる事に頑張つてゆ
きたいと思つております。意義あ
る大会有難うございました。

「全腎協総会に参加して」

夕張腎臓病友の会

瀬 尾 厚 子

私が札幌に行きあんなに大ぜい
の人が病氣で苦しい思いをして居
るのかとおどろきました。自分だ
けが、病氣でつらい思いをしてい
るのではない、これからは病氣に
負けずがんばって行く事が大切な
事だとよくわかりました。よその
病院では透析は4時間しかないの

に、夕張の先生や皆様にはそれ以
上の時間を掛けてやって戴き本当
にありがたい事だと思いました。
これからは皆様の言う事を良く守
り病氣に負けずがんばって行かな
ければならないと思えます。

「全腎協第22回総会を終えて」

室蘭地方腎友会

佐藤 利 國

全国の仲間が1、100名以上も北海道に参集して交流会や総会を行うことはもう私たちの生きている間はないことでしょう。それを思うとこの度の総会は参加した道腎協の会員にとって闘病生活の中で最大のイベントであり、全国の仲間とのふれあい交流の中から大きな意義を見出せたと思いますし、また良き思い出となったことでしょう。またこの総会開催により全腎協20年の正に命をかけた壮絶な患者運動の歴史とその成果と活動の継続の確認、そして私たちの今後の新たな患者運動への出発の自信となり、私たちの進むべき方向を確認すると同時に全国6万5千人の仲間の存在と共に生きる大きな勇気を与えられたように思います。

私はこの度思いもよらぬ分科会の司会の役目を与えられ、初めての経験でもあり90分の間に緊張

の連続でした。司会の不手際をお許しいただいて終わった後は自分が何を話したのかわからないほどでした。疲れましたネ。私の担当した第6分科会は「これからの会活動」について討論しました。

特に全腎協の法人化については法人化によるメリット、デメリットと法人化の是非について多くの会員から活発な意見が出されました。私は司会の立場から意見を出すことができませんでしたが、法人化については私は賛成です。早急に作業すべきだと思っています。壮絶な活動の20年の歩みと、これからの動向を考えるならば先人の築いた苦節20年の遺産ともいうべき成果を公的社會に位置づけ、患者活動の原点を明らかにし患者活動の社会的発言力の確立をめざすためにも法人化するべき時期にあると思います。協議体はあくまでも志を同じくする個々の集合体にな

ぎませんし、結束力の上からも弱いものではないでしょうか。国政や社會に對して、現在數の壓力という論議で運動が行われている状況では、公益活動を行って行く上で全腎協の政策完遂條件を満たすことができないのではないのでしょうか。そのために社会的にも認められた組織が必要です。患者として社会的役割を果たしていくためにも法人化を進めるべきです。法人化についてはいろいろと問題が提起されていますが、今後とも検討を重ね、私たちの志向に添ったものであってほしいと思います。

次に会活動の問題ですが、どの地域においても役員不足、旧会員の脱会、入会拒否など会活動の難しさが問われています。また福祉8法の改正に伴う地域組織づくりと地方自治体への取り組みなど私たちのとりまく情勢は医療、福祉両面で深刻な状況になりつつあります。このような状況の中で私たちは何も云わず黙ってはいけませんし、まして現状より悪化する私たちの環境は決して良くはなりませんし、まして現状より悪化する

もしないと云えるくらい私たちのことは理解していかないし分からないのです。だから私たち一人々が声を出し、環境改善を訴えていかなければなりません。そして、そのことを患者自身が認識することです。

私たちは幸にも他の難病患者などと比較して、現状では恵まれた状態にあります。これは私たちの目標の活動の成果でありそしてこれは継続の上になりたっていることを忘れてはなりません。私たちはこれからもこのことを念頭におき全腎協、道腎協の活動方針の基に結集し非会員を一人でも少なくする努力を会員1人々がすべきことです。役員にオンブにダッコではいけません。役員は「世話役」にすぎないのです。それに同じ仲間です。会員皆さんで援護してあげてほしいのです。非会員の皆さんは私たちにオンブにダッコはやめて下さい。皆さんで力を合わせて、お互いに協力し合って医療、福祉の改善、発展に協力して下さい。このことを分科会の中で強く感じました。

この度の総会は交流会も含めて

大成功だったと思います。道腎協岩崎会長はじめ事務局役員の皆様が2年間の苦勞がみごと花を咲かせました。マスコミにおいても新聞テレビ等で大きく報道され道民の認識も大きく深まったことと思います。

本州からの仲間は短い時間ではありましたが、きっと良き思い出をつくって帰られたことでしょう。

体にムチ打って頑張ったから、会長、事務局の皆様さぞかし心身の疲勞は大変だったことと思います。十分に休養をとって下さい。ご苦勞様でした。

最後に油井会長はじめ全腎協の事務局の皆様は遠い北海道での開催ということで、準備のため何度も足を運び大変ご苦勞さまでした。同時に本当にありがとうございました。

全腎協の事務局の皆さん、今後とも私たち患者の生活を守り、医療福祉の発展のためにご活躍をお願い致します。

第32回道腎協 ブロック会議開催のね

平成4年4月25、26日の両日、札幌市の北海道難病センターにおいて、役員・役員代理・事務局員合計32名により、第32回道腎協ブロック会議が開催されました。

開会后、役員及び同じ仲間の逝去を悼み全員で黙祷を捧げ冥福を祈りました。

岩崎会長の挨拶では、「いよいよ全腎協総会北海道大会が近づいています。積極的な取り組みをお願いします」というお話でした。

札幌腎友会の棧氏を議長に選出して議事に入りました。

1 報告事項

- (1) ブロック活動報告
 - (2) 全腎協第62回幹事会報告
 - (3) 全腎協第22回総会準備状況
 - (4) 第21次国会請願報告
 - (5) 医療法改正に反対する活動
- 各ブロック共、役員の子成や会員加入の苦勞が報告されました。
- 医療法改正では、我々患者に

不利益になりそうな法律改正がされそうです。



2 討議事項

- (1) 第15回定期総会議案書について
 - ① 平成3年度活動報告
 - ② 平成3年度決算・監査報告
 - ③ 平成4年度活動方針案
 - ④ 平成4年度予算案
 - ⑤ スローガン・総会宣言案



- (2) 全腎協公益法人化について
 - 廣岡副会長よりメリット・デメリットの問題、公益法人化により、対外的に認知され行政との折衝に有利。今後もっと検討されることでした。
 - 若干の質疑の後承認されました。

今回のブロック会議でも各ブロック役員の方が活発に討議され、沢山の意見が提出され無事終了しました。2日間連続、休憩も少ない中、役員の皆様お疲れ様でした。

全腎協第62回幹事会報告

全腎協幹事

佐藤利國

去る3月14・15日の両日、東京中野市サンプラザにおいて、第62回全腎協幹事会が開催されましたので報告致します。

会議は生田副会長のあいさつで始まり、油井会長より、今回の幹事会は来る5月24日の第22回全腎協総会札幌開催に提出する議案審議を中心とする幹事会であることと前置きされ、次に全腎協の現状について述べられた。共和、佐川問題など混沌とした政治情勢の中で全腎協は会員数も増え活動も順調に前進、財政基盤も分担金の値上げにより安定、事務局体制の強化もはかり、また、公益法人化をめざす新しい提案もし、20周年事業の完成も近く、順調に推移しているが、しかし、今回の医療費改正をはじめ医療福祉をめぐる状況は厳しいものであることを認識

し、今後の運動方針として全腎協20年の運動の成果を次代に伝える義務をもって新しい全腎協をめざす。これからの運動は「対決から協調の時代」とは云われるが厳しい状況の中、会員の結束強化をはかり運動を進めていかなければならないことを強調されました。終りにこの幹事会において皆さんのご意見を十分にお聞かせいただいで運営委員会の活動に反映していただきたいので十分なご審議をお願いしたいとのあいさつでした。議事は各ブロック活動の報告後5月24日の第22回札幌総会への提出議案を中心に討議されました。総会は例年と同様ではあるが、今年度は分科会がひとつ増やされ6分科会とすることなど他、提出議案は十分な質疑と討論の後、原案を一部修正し承認されました。

次に今回の総会が札幌開催という事で道外からの参加希望者が多く、透析施設や宿泊施設などの状況報告と参加に関する注意と協力への要請が運営委員の方からありました。

また、全腎協が今後「新しい全腎協」をめざし組織の充実をはかる目的で、全腎協公益法人化について検討委員会の検討結果の説明に基づいて協議が行われました。その他、旅費、事務局員賃金の一部規定改正について報告と討議が行われた後、小関副会長の閉会のあいさつで2日間の会議が終了致しました。

第21回国会請願報告書

「国会請願に参加して」

深川賢友会

鈴木春美

せていただき誠に有難度うございます。3月25日に旭川空港を出発し東京羽田には5時30分頃到着致しました。

天候は時々雨も降り肌寒い気候でした。五反田駅を下車した時は完全に日が暮れて街のネオンがまばゆく目に映りました。

全道の仲間の皆さんお元気ですか。さてこの度の国会請願に道の代表に選出され大変良い経験をさ

さて宿泊先の全社連ホテルの方



少し方向がそれで裏通りに出てしまいいりはてていました。そこへ中年の御婦人が通りかかり道を尋ねましたところ親切にもホテルの前まで案内してくれました。

東京は砂漠で人には無関心と聞いていましたが、優しい人も居るんだなあーと感激致して御婦人に厚くお礼申し上げ宿舎に入りました。

翌日ホテルで国会までの道順を開き国会議事堂前で下車、外に出てみると国会議事堂が目前に見えきました。私個人として東京には何度か行きましたが、国会議事堂を目の前にするのは初めてなので威厳を感じ思わずネクタイをしめ直した次第ですが、又、この議事堂の中に汚職議員が居ると思うと複雑な気持ちでした。

議員会館も第一衆議員、第二衆議員、参議員会館と三つ並んで建物があります。集合場所は衆議員第二会館第一会議室です。私が会場に入った時はすでに満員状態でした。受付で順番待ちをしている時、道の副会長の廣岡さんが来て道南の白岩政春さんと三人同じ場所に座る事ができました。

報告に依ると全国からの代表人員180名、署名数は81万人を越し有料道路料金等の署名は18万と係より報告がありました。

午前11時から全腎協の主催者のあいさつがあり、つづいて来賓の国会議員の挨拶、村山衆議院副議長長の挨拶につづいて、後藤(社)、児玉(共)、大見(公)、徳田(公)の挨拶があり、その後請願の趣旨の説明がありました。国会は予算委員会開催中であり議員も多忙な様子でありましたが、約30名ほどの議員が入れ替り立ち替り挨拶に見えており、議員の出席の出来な

いは、秘書の方がみえておりました。各議員は請願の趣旨を理解し努力することを約束致しました。その後食事のあと三人で道内選出の議員室を訪れ請願書を手渡し請願を致しましたが、議員の中で在室は児玉さんと池端さん両議員さんでした。各々お茶をいただき30分ほど透析患者の現状と透析に依る他の病気の合併症に苦しんでいる事情を廣岡さんと共に声を大にして訴えて参りました。

両議員からは出来る限りの努力をしていきますので、どうか透析者の皆さんには健康に留意され頑張ってくださいと激励され、議員会館をあとにしました。後に思った事ですが、各議員会館に入館するときは(衆議院第一会館から第二へ又参議員会館へ)その都度許可を受けなければならず、廣岡さんは大変だったと思います。

又、全国各地より看護婦さんの代表の方を始めた皆さんの団体請願者の多い事、請願する方も各議員の方もお互いに大変な事だと痛感致しました。

昭和40年頃は透析やその他の医療費を無料にしてほしいと当時の

患者さん達は、国会議事堂の登り坂をはいずりながら請願したそうです。現在の安心した透析をうけられるのも先輩達の血のじむよ

うな努力と会場で聞きました。今後共、毎年請願を続けたい限り医療費の一部の負担や、福祉の切り捨てと厳しさが予想されます。その様なことを考えながら東京をあとにしました。

最後に国会請願に出席させていただき、道腎協の関係者の各位の皆さんを始め、深川腎友会の皆さんに心より感謝を申し上げ乱文ながら報告にかえさせていただきます。有難度うございました。

※衆参両院で採択されました。

ブルック便り

滝川フロック

「ボーリング大会」

平成3年度最後の行事、ボーリング大会と、親睦会が例年通り滝川西友タックポールで2月23日行

われました。20代から60代と、会員家族スタッフ36名が参加しました。ゲームは



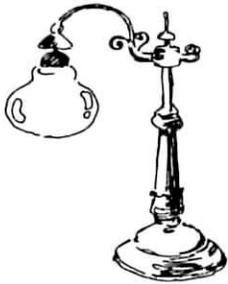
一人2ゲームずつ行われ、親子はど年の差がある組合せでも、あちこちから拍手や歓声がり、年令の差は感せず（感じないのは自分だけかな？）とても気持ち良い汗を流しました。

優勝した方は男性は透析導入初期の方で阿部勝敏様、女性も又透析一年未満の若い奥様で成清敦子様でした。私が導入した十数年前には入院生活や安静にしていますので今の方々はとてもお元気で医学の進歩におどろくばかりです。ゲームも無事終わり親睦会は西

友グルメランドで、和食を摂りながら和気合々とお口が動いておりました。ビール、ジュースが残っていて自己管理に真面目な方ばかりです。

今年は、若いスタッフが多く参加し、協力して下さいましたので、会場を明るくさせて頂きました。又今年のカメラマン（浜口看護部長）が大変多忙で、前に後にと、大変でした。おかげで、たくさんさんの思い出に残る写真が出来、皆様とてもよろこんでおりました。参加者の患者さんは皆お元気で、楽しい一日を過ごしました。来年こそ、優勝を思いながら散会いたしました。

（報告：宮本律子）



「平成4年度滝川クリニックス総会と道腎協岩崎薫会長の講演会開催される」

日々春らしい陽ざしが差し庭の木々も芽をふき、花々もちらほら顔を出し初めたと思う矢先、前夜からの天気の変化で春の嵐となり当日は小雪が舞いちり、寒い一日となりました。

遠く札幌よりおいでの岩崎会長には大変御苦勞おかけした事と存じます。

平成4年4月12日(日)滝川市総合福祉センターで定期総会が開催されました。出席者40名審議に先立ち榎郡勝司会長挨拶、最近の患者をめぐる社会環境の変化で医療の後退、会員結集、道腎協、全腎協に協力する事、力強く話されました。

続いて、来賓として御出席の菅原院長先生より最近の透析医療も国からのおさえつけで不安が出て来ている。透析医師会も皆力を入れてがんばっている。患者も団結しがんばって下さいとのお話でした。

院長先生や榎郡会長のお話の中でひしひしと国からの医療費のし

めつけ、老人患者の次は、我々透析患者に影響あるのではと、不安を感じました。その後審議に入り、平成3年度の活動報告、収支決算報告、監査報告があり承認されました。新年度は昨年の反省をふまえて収支予算、会則の一部改正案なども承認され役員選出となり、数人の入れ変わりがあり午前の部



の総会も無事終る事が出来ました。午後12時半より道

腎協岩崎会長の講演になりました。

人生経験豊かな会長のお話しは私達会員を引きつけるものがありました。

透析を16年も受けながら、全道数々の地方にお出かけになり、私達患者の先頭に立って、いつもがんばっておられ、力強いお声の張りのあるお話し、そのお姿にただただ頭の下がる思いです。

現在全国で約11万人の透析患者がいるそうです。病院が全道で137、札幌47、一人の患者の年間医療費少ない人で400万円、多い人で1,200万円膨大な金額です。今透析患者は国から大きな恩恵をいただいでいて無料です。

患者の連帯 呼びかける

透析者の会総会

【滝川】中・北空知の腎(じん)臓病患者の集まり「腎友会滝川クリニック透析者の会」(榎郡勝司会長、八十人)の第十一回総会が十二日、総合福祉センターで開かれた。



岩崎さんの話聞き入る
会員

滝川や深川のほかに、幌加内や浜益村も含め、四十人が参加した。市健康まつりへの参加など本年度の事業計画を決めた後、透析を十年以上続けている人が表

岩崎さんは、腎臓病に苦し

しみ自殺した若者、死に際に自分の腎臓を提供すると申し出た主婦、尿にタンパクが混じり兵役を免れ、生き永らえた自分の体験などを例に挙げながら「患者会の連帯を励みに、苦しみを乗り越えよう」と励ました。

会長は数々の実例をあげお話しくださいました。厚生省や国が私達透析患者が難病だから無料にしてくださいのではありません。昭和40年代の初期の高額医療費が自己負担のため透析すると生

れることがわかりながら苦しみ中、多くの方が命を落とされたそうです。京都で初めて患者の結束の中で運動が初まり大阪、東京と147人で全腎協が発足し、厚生省や国に陳情、デモなどもし、現在の障害福祉法が適用され今日のように無料で生かされているのです。又、会長の実例のお話しの中で町内会の御老人(元校長先生)が三男の方が東大一年の時腎不全になり透析を受け全財産をつぎこみ後がつづかず家につれて帰り、一週間後この世の人ではなくなったそうです。

時、昭和46年、その後47年から福祉法の対象となり、一年の時の差で不運と申しましようか、不幸にして若い命を落とすと涙ながらお話になったそうです。会長の実例の話のように私達は今無料で毎日生かされているのも先人が命がけて全腎協を結成され、御苦労や悲しみの成果である。命をかけて全腎協を結成された方は今は皆亡くなり、私達がその恩恵を受けて生かされていることです。一人でも多く入会して、小さな輪から大きな輪とし腎友会の団結を願っていられる会長のお心のうちが痛いほど感じました。世界の中で日本の透析医療が一番進んでいるそうです。アメリカはダイヤライザーを5回く20回使用、韓国は1回3万円、中国は本当にかざられた金持数人(日本の初期と同じ)透析導入後5年間の死亡率は日本8%、アメリカ25%です。日本は今ほ本当に恵まれていますがいつまでもこの様な時代が続くとは思えません。厚生省は老人患者負担大幅値上げしました。次は透析患者ではないかとも申しました。会長が国会陳情の折、野党の議員でさえ会員が団結し活動しなければ一部自己負担になるとも申ししていたそうです。会長は大きな力のお声で「皆さん1ヶ月6万円支払うことが出来ますか」。本当にその様になったら大変です。一人では弱くても力を合わせて後退の波を押し返す事も可能です。命をかけて腎友会結成された方々に感謝し一人でも多くの会員拡大につとめたいと思います。会長のお話しはいつまでも余韻として心の中に残っております。

(報告:宮本律子)

「第7回オホーツク腎友会総会

結果報告

去る3月29日(日)午前10時より、網走総合福祉センター内において、第7回オホーツク腎友会総会が、出席者21名、委任状出席者19名、欠席8名、家族2名、来賓1名によって開催出来ました。

総会には議事次第に入り、来賓挨拶では、いつも、当オホーツク腎友会がお世話になっております。釧谷道議に話していただきました。内容として、地域センター病院として網走厚生病院の看護婦不足(全道的な問題)、医療不足(特に地方における勤務医不足)について、又網走は今年度より新しく看護婦養成所と保健センターの二階建が予定され、向陽ヶ丘病院には高等看護学校が正看の養成をしているので、もう少しで良くなると思います。機会がありましたら、問題点などを「カツヤ事務所」の方へどうぞお知らせ下さい

とのことでした。最後に皆様が御健康でお過ごし下さいとねぎらいの言葉をいただきました。次の祝電、祝文披露では、網走市長安藤哲郎殿、網走市社会福祉協議会々々長高松菊男殿、道腎協会長岩崎薫殿、札幌腎友会々々長鈴木啓三殿、十勝腎友会副会長長菊地末三殿、北見地方腎友会々々長土屋竹夫殿より、励ましの言葉をいただきましたことお知らせ致します。

次に報告事項としまして、

- (1)平成3年度活動報告、(2)平成3年度会計収支決算報告、(3)平成3年度会計監査報告は、すべて、拍手をもって承認を受けました。提案事項は、(1)平成4年度活動方針案、(2)平成4年度会計収支予算案、(3)会則の改廃、(4)平成4年度役員選出も承認を受け、次の通り決定しました。

※ 会 長 清水 孝浩

※ 副 会 長 三春眞智子
佐々木保子

※ 事務局 長 厚田 幸一

※ 事務局 担当 前中由紀江

※ 幹 事 大滝 友恵

※ 幹 事 鈴木 和子

※ 幹 事 片岡 輝子

※ 幹 事 小笠原健造

※ 幹 事 田上 桜子

※ 幹 事 西山 佳輝

※ 幹 事 宇野 桂子

※ 幹 事 原田 幸一

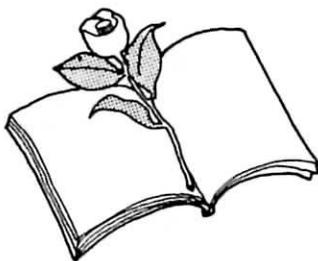
※ 幹 事 (兼任)

以上、新年度役員としてお手伝いさせていただきますので、会員



の皆様の御協力も、重ねてお願いいたします。最後に平成3年度透析歴15年、10年、5年の計10名に会長より記念品が渡されました。今後とも、会員の長期透析者が多数出て下さいます様、毎日の食事、管理に気を配って下さい。尚、総会終了後出席者全員で食事をいただき、記念写真を写しました。引き続き、新年度役員会を開催しました。その中で新会長の弁を一言「今後は会員との対話を大切にしたい、会員との交流を初めに帰って、同病人同志の会話を増してゆきたい」。これからのオホーツク腎友会もカラーが変わってゆきそうです。

(報告 原田)



「透析医療に従事して思うこと」

日鋼記念病院腎センタースタッフ

小林 正利（室蘭）



昨年私が12年間勤務していた旭川市の相川病院を退職し、将来の夢である正看護師の資格取得をめざして思い切って旭川を離れ室蘭市の日鋼記念病院高等看護学院を受験したのが今年の2月、しかし残念無念の結果となり、来年に向けて再度挑戦を決意し、当病院へ就職、旭川の家族とは離ればなれ生活とはなりましたが、これも夢の実現のため、長い人生の1ページと覚悟して頑張っています。この度の就職にあたり、以前、友人

から透析医療の話聞き透析技術に関心があったこともあり、希望し現在腎センターに勤務となり、早いもので2ヶ月が過ぎようとしています。腎センターに配属された当時は毎日がもう緊張の連続でした。部屋中に整然と設置された透析機器重く響く機械音、20台以上のベットがところ狭しと並べられた中を足速に歩くスタッフ、まるでどこかの工場のような。また、注射針の太さは想像以上でした。透析装置の複雑さ装置の中の血液の流れ、何とも云えない緊迫の中で患者さん1人々に消毒、血圧測定、穿刺と次から次へと作業が行われ、4〜5時間後返血終了まで、看護監視が続けられる、時には透析中に血圧低下により死に至るケースもあるということ

を先輩から注意を受け、本当に生命というものが極身近に感じさせられ、私が想像していた治療室とは問題外の情景に圧倒されとても緊張せずにいられませんでした。

最初の返血作業のときは手が震え先輩の指導でどうにかやりとげましたが、操作ひとつまちがえれば生命問題ですから冷汗が出る思いでした。この頃は他の仕事については当初より緊張感がなくなりましたがやはり返血時は緊張します。

私が昨年まで従事していた仕事は精神科領域であり、まるで畑違いであることから多少当惑もありましたが2ヶ月近くの時間の経過の中で昨年まで担当し経験したアルコール依存症患者さんの退院後の断酒継続と生活自立への経過を思い起こせば透析患者さんの導入後の生活自立への経過において「自己管理」の難しさという共通した悩みがあることを強く感じました。

現在透析生活15年以上の患者さんが増えていることと20年以上の人もいると聞いています。私の透析についての知識は透析が単に延

命だけのものとしか認識がなかったものですがらこの度透析医療に従事して本当に知識の足りなさに恥しい思いがします。今後透析療法を実践しながら勉強し、ひとつひとつ知識を身につけ将来の夢である正看護師へ向って一生懸命努力していきたいと思えます。

私は常々「急がずに、休まずに、何事も10年」という私自身の人生の格言としている言葉があります。この言葉は昨年までお世話になっていた旭川の相川病院の院長相川正志先生の口ぐせの中のひとつです。いつもわからないところがあると親切に教えていただいているスタッフの皆さんに甘えてばかりいられません。「急がず、休まずに何事も10年」という気持ちで自分の可能性にかけてこれからは患者さんと同じ位置で話ができる様自分なりの看護目標をもって人間対人間の触れ合いをしていきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

「病になって想うこと」

菊地 弘子 (滝川)



る様にとの事でした。

私はもし入院でもしなさいと云われたら、それでなくとも家事と会社勤務と忙がしい身なのにと、事の重大さよりも家族や会社の事ばかりが気になり、北大病院へ行つて何とか入院しなくて良い理由ばかりを探しました。

しかし検査の結果は「慢性腎不全」そく入院する事、2ヶ月もの安静食事療法をする事でした。入院しても情けなくて泣きの毎日です。そんな折、教授から「このままだとあと一年位で透析です」との残こくな判決が下ったのです。

病気に對し何の知識もない私は、もう死を待つしかないのだと思いました。

かなしくて、主人や子供に申し訳なくて生きる気力も、どんどん小さくなって行きました。

苦しい毎日でした。その後も病状は悪化する一方で食欲もなく歩

く事すら困難になって来ました。恐ろしい事も考えましたが、先生が云って下さる「透析をすると楽になりますヨ」と云う言葉を最後のたよりとして、勇気をふりしほってお願ひしたのです。

先生、「私透析をはじめます」と。こうして又私は素晴らしい人生の再出発をする事になりました。

楽になって最初に気が付いた事は、私の病気は私が原因であった事でした。

人にいらぬ気を使いながら内心では、我がままな我を一層大きくし人様の本当の苦しみ、痛みを知らずに、それでいて自分が一番苦勞しているのだと思つて生きて来た人生が、結果として病気を作つてしまつた事に気が付いたのです。1日おきに通う事で一時間の病院への道のり、春夏秋冬、それぞれ季節がとても美しく感謝せずにはいられない位です。

そして透析の三時間は私にとつて今までの勉強不足を少しでも補うための大切な時間になりました。最近手にした本の中にこの様な事が書かれていました。

病気は。私の強すぎる人、感謝

の心のない人、生きていく意欲をなくして人生に對する夢を失つた人、でも心が変われば病気は必ずよくなるのです。すべて治す力は内部の生命エネルギーの働きです。まずこの生命エネルギーが働きやすい様にしてあげる事です。と書かれていました。又素直であかるく、あたたかく、丸くゆつくり、すこやかに、の文章は、私の人生の大切な指針にしたいと、願つております。この体験で知つた事は、主人や子供達、そしておじいちゃん、おばあちゃんみんなが私と一緒に頑張って苦しんでくれたことでした。ただただ感謝です。

そしてこの様に恵まれた診療を受けられる様に恵まれた診療を受けられるようにして下さつた先人の皆様の御苦勞と国民の皆様から感謝です。

人間、健康である事が最高の幸福ですが、私は今、透析に通いながら今までの人生で最高の幸せを噛みしめております。

本当にありがとうございます。

平成2年2月24日いつも元気じるしの私が、めつたにない事、風邪を引いた感じがして、早めに休みました。

その日から2日、3日、とたちましたが、起きて頑張る気力がどうしても出ないのです。それでも「もう少ししたらきつと良くなるワ」と主人の病院へ行くようにとの忠告も聞かず回復を待ちました。

4日目少し楽になった様な気がして会社に行きましたが、次の日は又ダウンです。とうとう病院へ行くことになりました。

先生の診断は腎臓が大変悪い状態なので、北大病院で再度検査す

「捲土重来」

片桐俊子（札幌）

大学生の時、ノート片手にテスト勉強をしながら地下鉄の階段を降りていて、ステップを踏みはず

したことがあった。まさかさまに下までころげ落ちなかったのは、とっさに前の人の背中を、むんずとつかんだからで、私はストッキングをでんせんさせただけです。だがいきなり背中をつかまれた人は、さぞかしやびっくりしただろうと思うと、笑い話ではすまされないかもしれない。

こんな此細な失敗は毎日の生活の中にゴロゴロしている。うっかり手をすべらせてお皿をわったり、鉢植えをひっくりがえしたり、余計なことを言ってしまったり、言葉足らずで誤解を生んだり、「ああ失敗しちゃった」というたぐいの事は、時が忘れさせてくれる。で

も、私には忘れられない大きな失敗がある。それを思うと今でも胸が痛む。

当時、私は中学3年生の担任をしていた。新米だからベテランの先生達にくらべると、指導技術は、ずい分いたらなかったと思うが、やる気と生徒を思う気持ちは負がなかつた。2年になる時クラスがえがあり、ぎくしやくしていた学級が、修学旅行・陸上記録会・球技大会・マラソン大会などの行事を通して、少しずつチームワークがとれてくる。毎日の学習や係活動、話し合いの中でお互いを理解し合ってくる。その積み重ねが実って10月の学校祭合唱コンクールで、見事金賞に輝いた。「こんなつらい練習に耐え抜いて金賞を勝ちえたのだから、これからどんな事でも

のりきれる。受験だって、みんなで金賞をとろう。」と発破をかけ、この盛り上がりムードで一気に山を登りきろうと、私は考えていた。そんな矢先、山を登りきれず脱落したのは私だった。クラスのみんなに申し訳ないと思うけれど、私は病院のベットの上からのがれられないかごの鳥だった。子供達の声聞きたくて毎夜受話器を握ったが、話をしていけるとそのもどかしさを感じ飛んでいきたくなかった。

ゴールデンウィークの終わった5月6日、教え子が遊びに来た。2人とも保母をしていて、仕事にも遊びにも全力投球しているようだ。「中学校を出て、もう10年になるね」と昔話をしている中で、「私はみんなを卒業するまで見守ってあげられなかったね」と言うとき、私達の担任は先生だけだと思ってるよ」と言ってくれた。胸のつかえがとれた気がした。

NHKの大河ドラマで「信長」を放映している。「鳴かぬなら殺してしまえホトトギス」という言葉のイメージと緒形直人がちよとかけはなれているような気がして見ているのが、織田信長は多くのはいなが、織田信長は多くの負けいくさを経験したようだ。負けても負けても、捲土重来を期して戦国時代を戦い抜き、ついに天下をとった。したたかでなければ生きていけない。戦国武将・織田信長に、失敗を恐れず、それをバネに飛躍する打たれ強さを感じる。

生きていると小さきままな失敗に出くわす。マイナスをどうプラスに転じていくかが腕のみせどころかもしれない。ころんだら、起き上がればいい。すりむいても、皮膚は再生する。破れたくつしたは、つぎをあてるといい。(最近は見かけないけれど...) 何度もころんでいくうちに、いかに上手にころぶかという技術が身につく、ころばないよう気をつける知恵が生まれる。命をおとしたら、もうとり返しはつかないが、それ以外なら、とり返しはつかない事など、この世にないと思う。病氣というハンデイはあるけれど、失敗なんか恐れずチャレンジし続けたい。

「私の失敗談（列車の中に忘れもの）」

森 茂（筆名）



先日、道広報委員の宮城金一氏より道警協機関紙に掲載する原稿提出方の依頼があり、早速ペンをとった次第です。

東京オリンピック大会開催の翌々年昭和41年（1966年）2月、友人と二人連れで旅行したことがありました。十勝から東京までは団体行動で、農林省への陳情、九段会館だったか、日比谷公会堂だったか忘れましたが全国大会に出席し、同大会が終わると同時に東京駅へ駆けつけました。乗車券は、あらかじめ広島まで購入しておきました。この当時としては、原爆の地広島を訪れることは国民にとって一種の義務のような観がありました。初めて乗る東海道新幹線、

当時東京―新大阪間515キロメートルを3時間10分で結ぶ「ひかり号」は、最高時速210キロメートルの高速運転で、東京オリンピックの開催10日前、昭和39年10月1日営業開始されました。

さて私達二人の旅は、午後1時頃東京駅発下り「ひかり号」に乗車、新大阪駅に午後4時頃到着、乗りついで夕方岡山駅下車、ここで一泊することにしました。次の日倉敷、高松と廻り一泊、屋島、松山（道後温泉・高松城見学、夜の瀬戸内海航路に乗船、早朝広島（宇品）着、原爆記念館を拝観、岩国錦帯橋を見学、その後一路大阪へ直行。兼ねてから予定としていた井池のせいの街で、母や妻子の土産の衣類を購入してきました。その中には、一点何万円かする着物地もあり、商品には「いろは」のような記号だけで値段がついていたり、あちこちで価格の交渉が行われる風景がひろがっていました。この当時の井池筋のせいの街は、まだ古き良き時代の名残りが

のこっていたと思われず。

旅の途中で購入した土産や旅行手廻り品を大阪でもとめた風呂敷に包んで新大阪駅へ向かいました。最後の「ひかり号」は午後9時頃だったと思います。東京駅には深夜の零時に近く、かなり疲れていた思いが致します。

ここまでが前置きで、次の瞬間、大失敗が起こりました。東京駅近くでは宿がとりにくいので、上野まで行くこととなりました。東京駅から山手線に乗り換え、上野駅下車の際土産物全部を車中に忘れてしまいました。上野駅の改札係にその旨話しをしたところ、山手線の到着番線のホーム駅まで、今すぐ行つて駅員さんにその旨申出なさい。その列車が池袋駅に着かない内に荷物を見つけないといけないとのことでした。

友人と二人疲れもふき飛んで、到着番線の駅へ駆けつけ、駅員さんに、何時の池袋行山手線、先頭から何番目の列車、進行方向にむかって右側の真中頃のあみ棚、風呂敷包、やや大きめ、内容品は反物・帯など土産物が主と一気に話した記憶があります。駅員さんは田端駅・駒込駅に見当をつけて、列車の車掌さんに連絡をつけてくれました。巢鴨駅の手前で車掌さん

が見つけて、巢鴨駅に降ろしてありました。上野の宿についたのは翌日午前1時頃だったと思います。朝、巢鴨駅へ引取りに行ったのは云うまでもありません。

上野駅の改札さん、上野駅のホームの駅員さん山手線の車掌さん巢鴨駅の駅員さん。ほんとうにありがとうございました。

20数年を経過したいまでも、その時の様子がありありとよみがえってまいります。

私の失敗話は、この時のみにとどまらず、失敗とか忘れものは、むしろ歳とともに多くなっていると思います。

ことわざに「失敗は成功の基」とか「失敗は成功の母」などと云われても、それは気休にすぎないということでしょう。

『如何にうるはしく空にかがやけばとて終いには地に沈むべき日ぞ。青春人にして幾時ぞ、思へば惜しき過去なりき。』

と詠んだ明治時代の天才はまた過ぎし日、青春時代を、あたかも忘れものをしたかのようにとらえているところが、おもしろいではありませんか。

透析患者の検査の

定額化が一部改善

——合併症患者などに対応

四月からの診療報酬改定で、外来透析患者の血液検査が「慢性維持透析患者外来医学管理料」として定額化されましたが、五月二十八日付の保険局医療課長通知で、合併症等に対応した標準を上回る検査が認められましたので、関係項目を全文掲載します。今回の診療報酬の定額化について全腎協は、「患者にしわよせとなるもの」として国会や厚生省にその改善を強く要求していたのが一部認められたのもです。

慢性維持透析患者外来医学管理料

(通知抜粋)

ア、出血性合併症を伴った患者が手術のため入院した場合、退院月の翌月における末梢血液一般検査は、月二回を超えた分については、慢性維持透析患者外来医学管理料に加えて別に算定できる。

イ、副甲状腺機能亢進症に対するパルス療法施行時のC、Pの検査は、月二回を超えて実施される場合は月二回を限度として、

慢性維持透析患者外来医学管理料に加えて別に算定できる。またPTH検査は月一回を限度として、慢性維持透析患者外来医学管理料に加えて別に算定できる。

ウ、副甲状腺機能亢進症により副甲状腺切除を行った患者に対するC、Pの検査は、退院月の翌月から五か月間は、月二回以上実施する場合においては、二回を超えた分について慢性維持透析患者外来医学管理料に加えて別に算定できる。またPTH検査は月一回を限度として、慢性維持透析患者外来医学管理料に加えて別に算定できる。

エ、透析導入後五年以上経過した透析アミロイド症に対して、ダイアライザーの選択に当たり β_2 マイクログロブリン検査を月二回以上実施した時は、月一回を限度として、慢性維持透析患者外来医学管理料に加えて別に算定できる。

オ、高アルミニウム血症とヘモクロマトーシスを合併した透析患者に対して、メジル酸デフェロキサシンを投与している期間中におけるA1の検査は、慢性維持透析患者外来医学管理料に加えて別に算定できる。

カ、アからオに掲げる算定を行った場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

キ、平成四年通知の第一の二の(9)のエを次のように改める。

慢性維持透析患者外来医学管理料に包括される検査以外の検査を算定する場合は、その必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

(全腎協事務局ニュースより)

札幌

臓器移植で活発論議

全国腎臓病患者連絡協 本道で初の総会

腎臓（じんぞう）病患者 市中央区の札幌市教育文化の全国組織、全国腎臓病患者連絡協（油井清治会長）の第 22 回総会が二

十四日、本道で初めて札幌丁透析の欠かせない道外からの患者約三百



本道で初めて開かれた全国腎臓病患者連絡協議会の総会

が、札幌市内十二の病院などの協力で、大会の前後にバス六台で参加者が人工透析を受けられる体制を整え、開催にこぎつけた。総会では本年度の活動計画を決めたあと「腎臓移植と脳死問題」「透析医療と供給体制」な

ど六つのテーマごとに分科会を開き意見を交わした。は、「生体からの腎臓提供

腎臓移植問題について

だけでは限界がある。死者からの腎臓提供が一般的に認識されるような活動が必要なのは」（高知県の女性）などの意見が出された。また、脳死者からの腎臓提供について「脳死は人の死であるという合意が一般的に広がるよう、全腎協が

新聞記事から

患者らが団結の輪

札幌で全腎協総会開く

第二十二回全国腎臓病患者連絡協議会総会が二十四日、札幌市教育文化会館で、腎臓病患者ら約千百人が全国から参加して開かれた。同総会が道内で開かれるのは初めて。腎不全は、腎臓が機能しなくなり、尿が排出できず血液中に毒素がたまる。このため一日おきに人工透析を受ける必要がある。

総会では油井清治会長が「四月一日に医療費が改正され、透析医療も厳しくな



方針が提案された後、六つの分科会に分かれ「透析医療と供給体制」「腎臓移植と脳死問題」など切実な問題について話し合われた。道内で初めて開かれた全腎協総会は24日午前9時45分、札幌市教育文化会館

道腎協は4月北海道知事に対し左記の要望を提出していましたが、この度回答がきましたのでこの報告します。

北海道知事

横路 孝弘 殿

北海道腎臓病患者連絡協議会

会長 岩崎 薫

「腎疾患総合対策」取り組みに関する要望について

平素より本会にご協力ご支援下さり感謝申し上げます。

現在慢性腎不全による人工透析患者は全国で10万5千人をこえ、本道でも5,000人になろうとしております。特に最近では糖尿病発症による腎不全患者が30%と高い比率を示す状態となっております。また、長期透析患者が増加し合併症に苦しむ患者も多く、腎移植は遅々として進まない状態であります。毎年、国レベルでは国会、厚生省への請願陳情を行い成果をあげており特に国会請願はここ数年「腎疾患総合対策」の確立をめざす請願が議案採択となっております。本年度全国腎臓病患者連絡協議会による国会請願行動を去る3月26日(木)、本道からも3名派遣いたしました。

ここ2、3年は各県単位で、対策委員会等を設置し腎疾患の予防、治療、研究対策に取り組んでおりますが、本道でも従来より今日までの道関係において取り組まれている具体的な腎疾患関係対策について項目別の要望事項にご回答下さいますようお願い申し上げます。

また、道腎移植推進連絡委員会が充足予定と承っておりますが中間的な状況も併せて5

月中旬までご回答お願いします。

なお、平成2年までに29都道府県で腎疾患対策推進検討機関が設けられております。

要望事項

- (1) 道内の腎臓病患者の全面的な実態調査を行ない、腎不全の予防、治療の対策と腎疾患対策委員会(行政、専門医、医師会、患者会)を設置して下さい。
- (2) 透析施設の地域偏在をなくし、特に公的病院における人工腎臓の増設と腎疾患専門外来を設けて下さい。
- (3) 道職員の採用について内部障害者を別枠として採用して下さい。
- (4) 腎移植促進のため医療機関の整備をし、道民に対する腎移植普及への啓発活動を充実して下さい。
- (5) 地震、水害、災害時の緊急透析体制の確保をしてください。

〔回答〕

北海道総務部知事室

広聴課長 富澤 利雄

要望事項(1)について

腎不全の予防・治療の対策には、腎疾患の早期発見、早期治療をすることが大切であり、現在、乳幼児から老人まで、生涯にわたり一貫した健康診査が実施されております。しかしながら、腎不全に陥り人工透析を受けている方が年々増加していることから、道としては、透析医療の現況調査を毎年実施しており、透析医療を受けておられる方々の実態等を把握し、設備整備に努めているところであります。今後とも、これらを踏まえながら、腎不全対策の推進に努めて参りたいと考えております。

要望事項(2)について

道内で人工透析を実施している医療機関数は、現在、137施設であり、透析装置台数は2,375台となっており、全体の患者数からみると人工透析装置の必要数は、概ね確保されているものと考えております。しかしながら、地域的な偏在が見られることから、その解消を図るため、今年度は道立江差病院の設備整備を行うこととしており、これにより、21の第二次保健医療圏すべてに整備されることになりました。今後とも、人工透析患者数の状況を見ながら、国の補助制度を活用するなどして、専門医療の充実、整備に努めて参りたいと考えております。

要望事項(3)について

職員採用のための競争試験は、地方公務員法上平等公開を原則としておりますことから、内部障害者の方々も一般競争試験を積極的に受験していただきたいと考えております。

要望事項(4)について

腎不全の根治療法である腎移植を円滑に推進するため、道としては、昭和59年度に市立札幌病院に地方腎移植センターを整備したところであり、平成3年度においては、今後の腎移植のあり方や推進方を協議するため、腎移植推進連絡協議会を設置するなど、腎移植の実施体制の整備に努めております。また、善意の腎提供登録者を確保するため、道としては、各保健所に登録の窓口を設置するとともに、毎年10月の腎移植推進月間に合わせて、各種普及啓発活動を行っていただくことであり、さらに昭和59年度に設置された財団法人北海道腎臓バンクに対し助成を行い、登録促進に努めているところであります。今後とも、市町村や各種団体の協力を得ながら、広く道民に対して普及啓発の推進に努めて参りたいと考えております。

要望事項(5)について

災害時の緊急治療体制については、各医療機関において一般の医療患者と同様に、人工透析を受けられている方々にも、総合的な対応がなされているものと考えております。

あなたは年金を掛けていますか

長く透析を続けていくと色々な合併症や、体に不都合が出てきます。その時に障害年金の等級が変更することがあります。しかし、その時に年金を掛けていないと認定されないことがあります。年金を掛けるだけの所得のない方は、減免制度がありますので必ず手続をしておいて下さい。

本のご案内

茨城県腎協の植木登さんが透析の事や日常生活の事をうたいあげた本を発行しました。購入希望の方は左記に申込み下さい。

歌集 「透析のうた」

定価1,500円(送料260円)

句集 「透析二百句」

定価 500円(送料250円)

申込先 茨城県土浦市真鍋3の10の31

植木 登 宛

※編集後記はお休みさせていただきます。

全腎協総会で疲れまして、発行が遅れまして申し訳ありませんでした。

(堀井)



clinical foods

森永低リンミルクL・P・K

———使いやすい、飲みやすいミルク———

腎機能に障害のある方(特に透析患者の方)に適しています。

(低リン、低カリウム、良質な乳蛋白質、
カルシウム、鉄増強)



●お問い合わせは、森永乳業(株)札幌支社栄養食品販売課
TEL011-865-2821

※ご使用は専門医のご指導に従ってください。

低リンミルクL・P・Kを利用した献立

その6

低リン ミルクあめ

材 料 25個分

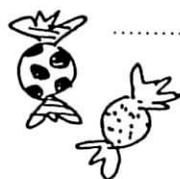
さらし水あめ……………100g

低リンミルク……………100g (5本)

片 栗 粉……………適量

10個(80g)当たり

	エネルギー	カルシウム	リ ン	カリウム
キャラメル	388Kcal	104mg	80mg	136mg
低リン ミルクあめ	310Kcal	240mg	30mg	160mg



……………水分制限している方やおやつ、透析中の栄養補給に。

—作り方—

- ① 耐熱ボール(ステンレスは、使用できません)の中に水あめを入れ、電子レンジで、20~30秒かけやわらかくする。
※お鍋で火にかけて、やわらかくしてもよい
- ② ①の中に、低リンミルクを粉のまま入れ、混ぜているうち、かたくなったら、もう一度、電子レンジに、10秒前後かけ、やわらかくし、(2~3回) こねることをくり返す。
- ③ 大きめなまな板の上に、片栗粉をまぶし、棒状にのばし、はさみで適当に切る。

★ご不明な点は、TEL 011-865-2821へ

日通旅行企画

萩・津和野と広島 3泊4日の旅

1992年10月15日(木)出発 **¥150,000**(全食事付き)

期 日	行 程
10月15日 (木)	09:20 (ANA052) 千歳空港 → 12:30頃 (ANK173) 羽田空港 → 米子空港 → 松江城 → 玉造温泉 10:50頃 13:45頃 武家屋敷
10月16日 (金)	08:30 ホテル → 出雲大社 → 三段峡 → 広島市内 → ホテル (夕方より透析) 15:30
10月17日 (土)	08:30 ホテル → 市内観光 → 原爆ドーム → 平和記念公園 → 資料館 → 宮島 → 津和野 → 萩市内 17:30頃
10月18日 (日)	08:00 ホテル → 09:30 秋芳洞 → 10:30 山口宇部空港 → 11:30頃 (ANA694) 羽田空港 → 14:50 (ANA067) 千歳空港 08:45 13:00 16:20頃

●受付……………9月1日まで定員30名(透析者)+家族数名受付いたします。(定員になり次第締め切りいたしますのでお早めにお申し込みください。)

(お部屋は和室タイプは定員ベース・洋室タイプはツインタイプです。個室等ご希望の方は別途料金になります。)

日通旅行 旅行第2課

札幌市中央区北1条西4丁目東邦生命ビル11階
TEL 011-222-4622
担当 北條・秋川

昭和48年1月13日 第三種郵便物許可 H・S・K通巻244号
平成4年8月10日発行(毎月10日発行)

発行所

北海道身体障害者団体定期刊行物協会 神原義郎
札幌市北区北13条西1丁目

頒価3000円